

Economic Value

経済的価値

マネジメントアプローチ

協働・共創を通じた持続的成長の実現

他の企業との協働・共創や地域社会とのつながりを深めることによって新たな価値を生み出し、社会から信頼される存在であることで、NXグループの持続的成長を実現します。



主要なサステナビリティ課題

- サステナブル・ソリューションの開発・強化
- グローバル・サプライチェーンの強靱化

サステナビリティデータブックの記載内容

- グローバル・パートナーシップの強化
- 事業を通じた社会貢献

NXグループのアプローチ

- イノベーションを通じたお客様や社会への価値創造と社会課題の解決の推進
- 地域に密着した課題の解決と社会づくりへの貢献



経済的価値に関連する当社WEBサイト

重要課題



経済的価値



コミュニティ・ガバナンスデータ



協働・共創によるイノベーションの実現

グローバル・パートナーシップの強化

協働・共創によるイノベーション創出の考え方 方針・目標

NXグループは1937年の創立以来、物流を通じて社会の発展に貢献することを使命とし、さまざまな新サービス・ソリューションを提案してきました。一方で時代や環境は加速度的に変化しており、これまで当社グループに蓄積されてきた知見・経験を生かしながら、スピード感をもって新たな価値を提供していく必要があります。

こうした背景から、新しい事業アイデアや技術を持つスタートアップ企業との共創を通じて、私たち自身も変革し、お客様へ新たな価値をご提供することを方針としています。

オープンイノベーションの推進 活動・実績

NXグループはDX、サステナビリティの推進に資する新しい技術・事業アイデアや中長期での新事業に資する領域に強みを持つ国内外の有望なスタートアップとの事業共創を推進しています。2023年1月には、その活動を強化するため、NXグローバルイノベーション投資事業有限責任組合(NX GLOBAL INNOVATION FUND)およびコーポレートベンチャリング部を新設しました。2024年2月末時点で、当社グループのDX、サステナビリティ経営に資する5社のスタートアップへ投資を実行し、各投資先と共創を推進しています。



NX NIPPON EXPRESS

5年間で50億円を有望なスタートアップへ投資するNXグループの投資ファンド



TOPICS

NIPPON EXPRESSホールディングス、株式会社ecommitへ出資し、動脈・静脈物流を融合した新たな事業モデルを創出

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社は、2023年1月に設立したCVCファンド「NXグローバルイノベーション投資事業有限責任組合」の第2号案件として、不要品の回収・選別・再流通を通じて資源循環型ビジネスを展開する株式会社ecommit（以下「ECOMMIT」）に対して出資しました。

NXグループは、「事業を通じて世界の人々のより良い暮らしと持続可能な社会の発展を支える」ため、循環型社会の実現に向け事業活動で排出される廃棄物の削減と3R（リサイクル・リユース・リデュース）の推進、反復資材の活用や環境商材などの環境配慮型商品を提供してきました。

ECOMMITへの出資により、当社グループが重点産業と位置づけるアパレル産業のお客様に対し、ECOMMITの回収・選別ノウハウやトレーサビリティシステムと、当社グループのロジスティクスソリューションを組み合わせ、動脈・静脈物流を融合した新たな事業モデルを国内外で創出することに取り組んでいます。



詳細は当社WEBサイトをご覧ください。

地域社会の発展への貢献

事業を通じた社会貢献

コミュニティ参画に関する考え方 方針・目標

NXグループの事業は道路や鉄道、港湾、空港などの社会基盤の上に成り立っており、それぞれ関係する地域や社会と密接に関わっています。当社グループは、物流企業としての社会的、公共的使命を認識するとともに、地域社会と積極的にコミュニケーションを図り、地域に根ざした社会貢献活動に取り組んでいます。

大学寄附講座への講師派遣 活動・実績

NXグループは、一般社団法人日本物流団体連合会（物流連）が物流人材育成を目的に大学生を対象に実施する講座に講師を派遣しています。「物流と環境問題」というテーマで講義を実施し、物流を通して地球温暖化等の環境問題の解決に取り組む当社グループの活動を紹介しました。2023年度は横浜国立大学の学生164人、法政大学の学生60人、青山学院大学の学生200人が受講し、大学生たちに物流に対する関心と理解を促すとともに、若い世代から率直な意見を収集する機会となりました。



寄附講座の様子

事業を通じた社会貢献

「NXグループの森」での森林育成活動 活動・実績

NXグループは、環境社会貢献活動の一環として、山形県飯豊町、鳥取県日南町に「NXグループの森」を設け、「森の多面的機能を高める」、「地域社会への貢献」、「環境人材の育成」をコンセプトに年に2回、町役場や森林組合などの協力・指導の下、計画的に植樹や下草刈りなどを行っています。これまでの森林育成活動には、約2,000人が参加し、10,000本以上の苗木を植樹しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、従業員参加型の活動を中断し、地元の森林組合が整備を続けてきましたが、2023年、当社グループの従業員とその家族がボランティアとして参加する活動を2019年以来4年ぶりに再開しました。また、こうした植樹活動は、日本のみならず韓国やインドなどでも実施しています。当社グループは引き続き、自然環境を次世代につなぐための活動に取り組んでいきます。

WEB

詳細は当社WEBサイトをご覧ください。



植樹活動の様子

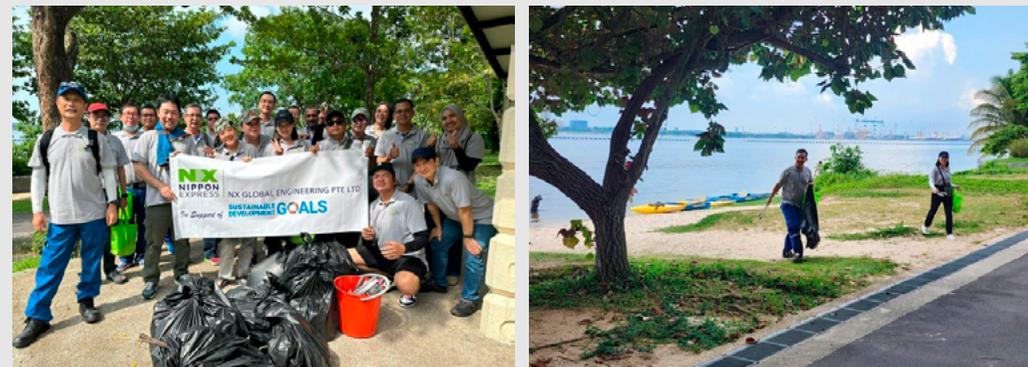
TOPICS

NXグローバルエンジニアリング、シンガポールで清掃活動を実施 (2023年6月)

NXグローバルエンジニアリング株式会社は6月22日、シンガポールのセンバワン公園で清掃活動を実施しました。参加者は環境保全と野生生物の保護を目的に、廃棄物と汚染物質の削減を目指してボランティア活動に取り組みました。本活動で公園と海岸周辺の約7ヘクタールのエリアを清掃し、非生分解性の空き箱、ペットボトル、プラスチック袋やタバコの吸い殻など、合わせて21袋分のごみを回収しました。

WEB

詳細は当社WEBサイトをご覧ください。



TOPICS

NXインド、植樹活動を実施 (2023年9月)

NXインド株式会社は9月30日、グジャラート州のアーメダバードで環境社会貢献活動の一環として、初めて植樹活動を実施しました。この活動には、同社の従業員とボランティアの学生あわせて27人が参加し、さまざまな種類の苗木を植樹しました。今回植樹された苗木は、環境保護活動に取り組むNGOによって管理されます。参加者は、この取り組みを通じて環境保護の重要性を再確認し、社会貢献活動への意識を高めました。

 詳細は当社WEBサイトをご覧ください。



TOPICS

NIPPON EXPRESSホールディングス、オリジナル教材セット 「Logistics for the Future!～地域、世界を結ぶ物流の役割～」を 無償配布

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社は中学校社会科地理・公民に対応したオリジナル教材セット「Logistics for the Future!～地域、世界を結ぶ物流の役割～」を制作し、学校用教育教材として文部科学省から選定されました。2023年に希望する全国の1,012校へ無償配布され、授業で活用されています。

教材は学習指導要領に基づき、交通網の発達や物流の消費生活への支えについて紹介しています。導入編とまとめ編に分かれており、アクティブ・ラーニングやグループ学習にも活用できます。当社グループは、今後も子どもたちの教育支援活動に取り組んでいきます。

 詳細は当社WEBサイトをご覧ください。



モデル授業の様子

事業を通じた社会貢献

文化交流・社会貢献活動への支援

活動・実績

NXグループは地域に根ざしたさまざまな社会貢献活動を各地で展開しています。主な活動実績は下記のとおりです。

社会貢献活動実績（2023年度）

	参加・派遣延べ人数
清掃活動	11,305人
交通安全運動	244人
祭礼への協力・参加	523人
職場献血活動	749人
学校等への講師派遣	50人

その他の社会貢献活動実績：日本通運野球部による野球教室の開催、学校建設、寄付（金銭、物品）など

TOPICS

NXアメリカ、ハワイ州にカセットコンロを届ける（2023年11月）

NXアメリカ株式会社は、大規模な山火事により被害を受けたハワイ州マウイ島の住民に、ロサンゼルスからマウイ島まで、カセットコンロ1,000台の海上輸送および倉庫までの配達を無償で実施しました。



引き渡し式の様子 (JETRO提供)

事業を通じた社会貢献

TOPICS

NX・NPロジスティクス、現場改善活動「神戸化」を実施

NX・NPロジスティクス株式会社では、現場改善活動を全社の取り組みとして展開しています。この改善活動の模範拠点である同社神戸営業所にちなみ、同社ではこの活動を「神戸化」取り組みと呼び、本社に「神戸化推進室」を設け、横展開の推進、活性化を後押しするさまざまな施策を実施しています。

その中の一つが、2016年から開始した「神戸化サポートポイント」の取り組みです。

「神戸化サポートポイント」とは、各拠点が実践した改善活動の内容と総件数に応じて付与されるポイントを元手に、各拠点ではさらに改善活動に向けた備品購入に使用することができるという仕組みです。

自身の活動が人の助けになることをより意識ができるように、2022年から新たなサポートポイントの使い道として、「社会貢献」につながる『ユニセフ支援ギフト』[※]への使用を選択肢に加えしました。

2024年1月に発生した能登半島地震への支援をしたいという従業員の思いを受け、2023年度中に拠点が取得したポイントは、ユニセフの栄養治療食20セット(2,400食)と、石川県への災害義援金に分けて支援を実施しました。

※ユニセフ支援ギフト

ワクチン・栄養治療食・毛布などの中から、寄付者が選んだ支援物資(ギフト)を、ユニセフが最も支援が必要な子どもたちのもとに届ける支援方法



 詳細は当社WEBサイトをご覧ください。

TOPICS

日本通運とOMデジタルソリューションズ、収蔵品デジタルアーカイブサービスの協業に合意

日本通運株式会社とOMデジタルソリューションズ株式会社は、収蔵品デジタルアーカイブサービスにおいて協業することに合意しました。

日本通運が提供する(富士通と共同開発)文化財・美術品等のデジタルアーカイブ構築を一括サポートするサービス「SmartMuse」において、OMデジタルソリューションズ株式会社の保有するデジタル化技術を活用するもので、文化財や産業資産をデジタルデータ化して後世に残す役割を担う美術館・博物館における収蔵庫の資料整理の負荷や学芸員の人手不足をDXの推進により解消し、文化教育領域の課題解決に貢献します。

 詳細は当社WEBサイトをご覧ください。